

Docker 上の Pandoc による TeX を含めた Markdown の出力テスト

Shuichi Ohtsu

概 要

これは Pandoc による Markdown から PDF への出力用のテストデータです。TeX の構文も含まれています。

目 次

Markdown の解説	2
【特殊文字】	2
【表】	2
【数式】	3
【リンク】	4
【脚注】	4
【図】	5
【プログラムソース】	6
【リスト】	7
【引用】	7
【参照】	8
【罫線】	8
【参考文献】	9
Reference	10

Markdown の解説

【特殊文字】

入力

`\TeX` は スタンフォード大学の Donald E Knuth 教授が開発しました。

`$\mathcal{ABCDEFGH}$`

出力

TeX は スタンフォード大学の Donald E Knuth 教授が開発しました。

ABCDEFGH

【表】

入力

```
\begin{tabular}{|l|l|}\hline
age & count \\\hline
18-25 & 15 \\\
26-35 & 33 \\\
36-45 & 22 \\\hline
\end{tabular}
```

出力

age	count
18-25	15
26-35	33
36-45	22

【数式】

入力

```
\newcommand{\tuple}[1]{\langle #1 \rangle}
```

```
 $\tuple{a, b, c}$
```

H₂O は液体です。2¹⁰ は 1024 です。

```
\begin{equation}
```

```
  y = ax^2 + bx + c
```

```
\end{equation}
```

```
\begin{equation}
```

```
  y = ax^2 + bx + c
```

```
\end{equation}
```

```
\begin{align}
```

```
  \sinh^{-1} x \approx \log(x + \sqrt{x^2 + 1}) \notag \\
```

```
  \approx x - x^3/6 + 3x^5/40 + \dots
```

```
\end{align}
```

```
[^equ01]
```

[^equ01]: [奥村晴彦 2017/01/25] p.120 を参照。

出力

$\langle a, b, c \rangle$

H₂O は液体です。2¹⁰ は 1024 です。

$$y = ax^2 + bx + c \tag{1}$$

$$\begin{aligned}\sinh^{-1} x &= \log(x + \sqrt{x^2 + 1}) \\ &= x - x^3/6 + 3x^5/40 + \cdots\end{aligned}\tag{2}$$

1

【リンク】

入力

```
<http://google.com>  
<sample@google.com>
```

これは [インラインリンク](http://google.com) です。

出力

```
http://google.com sample@google.com  
これはインラインリンクです。
```

【脚注】

入力

これは脚注の参照です [^longnote]。

[^longnote]: これは脚注の本文です。

出力

これは脚注の参照です²。

¹(奥村 晴彦 2017) p.120 を参照。
²これは脚注の本文です。

【図】

入力

! [これはキャプションです] (https://raw.githubusercontent.com/0htsu/images/master/ng5-bootstrap4/ng5-bootstrap4-carousel_default_page_01.png) {#fig:carousel}

出力

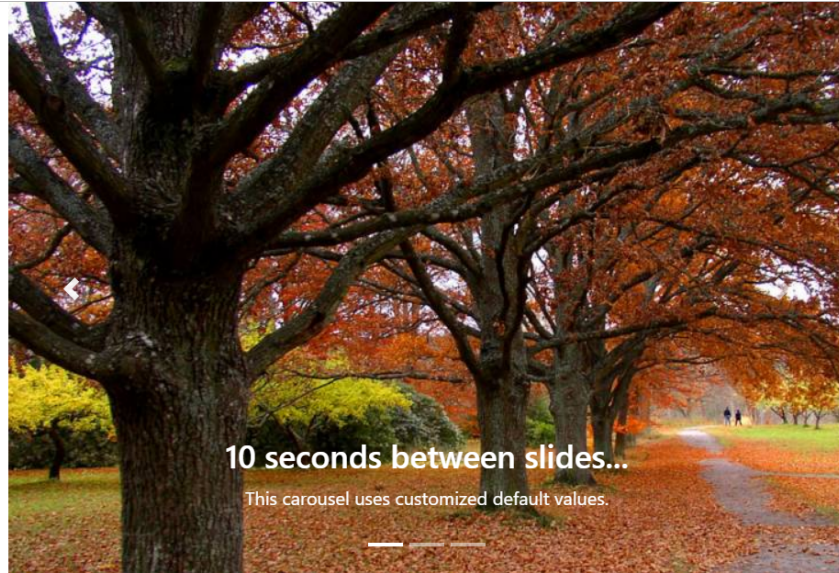


Figure 1: これはキャプションです

【プログラムソース】

入力

```
```c
#include <stdio.h>

int main(int argc, char **argv)
{
 printf("%s\n", "Hello, World");
 return 0;
}
```
```

出力

```
#include <stdio.h>

int main(int argc, char **argv)
{
    printf("%s\n", "Hello, World");
    return 0;
}
```

【リスト】

入力

```
* list 1
  * list 1 - 1
    * list 1 - 1 - 1
    * list 1 - 1 - 2
  * list 1 - 2
  * list 1 - 3
* list 2
* list 3
```

出力

- list 1
 - list 1 - 1
 - * list 1 - 1 - 1
 - * list 1 - 1 - 2
 - list 1 - 2
 - list 1 - 3
- list 2
- list 3

【引用】

入力

> このテキストは、HTML の `blockquote` 要素に囲まれます。
`blockquote` 要素は `reflowable` です。テキストを好きなように
改行することができます。改行したとしても、変換後はひとつの
`blockquote` 要素として扱われます。

出力

このテキストは、HTML の `blockquote` 要素に囲まれます。
`blockquote` 要素は `reflowable` です。テキストを好きなように
改行することができます。改行したとしても、変換後はひとつの
`blockquote` 要素として扱われます。

【参照】

入力

```
![Firefox]  
[Firefox]: http://getfirefox.jp/b/120x90_1_white "ファイヤー  
フォックス"
```

図 [fig:carousel] で表示されています。

出力

[Firefox] [Firefox]: http://getfirefox.jp/b/120x90_1_white “ファイヤーフォ
ックス”

図 fig. 1 で表示されています。

【罫線】

入力

* * *

出力

【参考文献】

入力

Pandoc の文法については、[@JohnMacFarlane2018/09Pandoc] や
[@JapanesePandocUsersAssociation2014/06/27] を参照してください。

\TeX については、[@奥村_黒木 201701]などを参照してください。

Pandoc のインストールなどについては、[@miyamiya2018/06/28] が参考になります。

Pandoc-citeproc や Pandoc-crossref については、[@inoblog2016]、
[@kihara2017/12] [@mickey2016/05] が参考になります。

詳しくは以下の `_Reference_` を参照してください。

出力

T_EX 一般については、(奥村 晴彦 2017) が大変参考になります。

Pandoc の文法については、(MacFarlane 2018) や (“Pandoc ユーザーズガイド日本語版” 2014) を参照してください。

Pandoc のインストールなどについては、(@miyama 2018) が参考になります。

Pandoc-citeproc や Pandoc-crossref については、(inoblog 2016)、(kihara 2017) や (mickey 2016) が参考になります。

詳しくは以下の *Reference* を参照してください。

Reference

inoblog. 2016. “Markdown と Pandoc を使って論文っぽい文章を書く.” <https://inody1991.tumblr.com/post/134742076815/markdown%E3%81%A8pandoc%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%A3%E3%81%A6%E8%AB%96%E6%96%87%E3%81%A3%E3%81%BD%E3%81%84%E6%96%87%E7%AB%A0%E3%82%92%E6%9B%B8%E3%81%8F>.

kihara. 2017. “化学系だけど Markdown でレポートを書いて Pandoc を使った.” <http://pinkmagenta.hatenablog.jp/entry/2017/12/20/124911>.

MacFarlane, John. 2018. “Pandoc User’s Guide.” <https://pandoc.org/MANUAL.html>.

mickey. 2016. “Pandoc で相互参照.” <http://pinkmagenta.hatenablog.jp/entry/2017/12/20/124911>.

@miyama. 2018. “WSL (Windows Subsystem on Linux) で Pandoc メモ.” <https://qiita.com/miyamiya/items/4d2e93ad7895e302c27e>.

“Pandoc ユーザーズガイド 日本語版.” 2014. <http://sky-y.github.io/site-pandoc-jp/users-guide/>.

奥村 晴彦, 黒木 裕介. 2017. [改訂第 7 版] *LaTeX 2_ε* 美文書作成入門. 技術評論社. <http://book.gihyo.co.jp/bibunsho/>.